

CLIを使用したCatalyst 1200および1300スイッチのDay Zero設定

目的

この記事の目的は、コマンドラインインターフェイス(CLI)を使用して、Catalyst 1200または1300スイッチのゼロデイ設定を行うことです。

該当するデバイス|ソフトウェアバージョン

- Catalyst 1200 | 4.0.0.91([データシート](#))
- Catalyst 1300 | 4.0.0.91([データシート](#))

はじめに

中小規模のビジネスに適した、手頃な価格で導入が簡単なスイッチをお探しですか。Cisco Catalyst 1200および1300スイッチは、高度なスイッチング機能と高度なセキュリティを備え、Cisco Business DashboardまたはCisco Business Mobile Appを使用して簡単に管理できる優れた機能を備えています。

Catalyst 1200および1300スイッチの詳細については、次のページを参照してください。

- [Cisco Catalyst 1200または1300シリーズスイッチにアップグレードする理由の機能比較](#)
- [Cisco Catalyst 1200および1300シリーズスイッチの概要](#)

また、次のハードウェアインストールガイドを参照して作業を開始することもできます。

- [Cisco Catalyst 1200ハードウェアインストールガイド](#)
- [Cisco Catalyst 1300ハードウェアインストールガイド](#)

CLIを使用したCatalyst 1200または1300スイッチのゼロデイ設定から始めましょう。

ゼロデイ設定

手順 1

この例では、Catalyst 1300スイッチが使用されています。コンソールケーブルを使用

してスイッチに接続します。

手順 2

キーボードでEnterキーを2回押して、コンソールボーレートの自動検出プロセスを完了します。これは、コンソール接続の速度を特定し、適切なレートでデータを送信するために必要です。

```
This may take a few minutes, depending on the key size.
13-Mar-2023 20:16:08 %Entity-I-SEND-ENT-CONF-CHANGE-TRAP: entity configuration c
hange trap.
13-Mar-2023 20:16:08 %SSL-N-SSLCTASK: Starting autogeneration of self-signed cer
tificate - 2048 bits

Generating RSA private key, 2048 bit long modulus
13-Mar-2023 20:16:09 %SSL-N-SSLCTASK: Autogeneration of self-signed certificate
was successfully completed

Generating RSA private key, 2048 bit long modulus

>lcli

Console baud-rate auto detection is enabled, press Enter twice to complete the d
etection process
```

手順 3

デフォルトのユーザ名を入力します。これはゼロデイ設定であるため、ciscoです。

cisco

Note:

ciscoはすべて小文字です。

手順 4

デフォルトパスワード(cisco)を入力します。

cisco

手順 5

新しいユーザ名を入力するように求められます。この例では、adminです。

admin

手順 6

新しいパスワードを入力します。パスワードは標準要件を満たしている必要があります。

- パスワードは8文字以上にする必要があり、大文字、小文字、数字、特殊文字の4つのオプションのうち3つを含める必要があります。
- 1つの文字を3回以上繰り返すことはできません。
- 連続する複数の文字または数字を1行に含めることはできません。また、文字の大文字と小文字は区別されません。
- ユーザ名をパスワードとして使用したり、ユーザ名の逆の形式や変更された形式を使用したりすることはできません。
- 「Cisco」または「Cisco」という語の変化形は、パスワードのどの部分(beginning、middle、end)にも使用できません。
- 既知のユーザ名とパスワードは受け入れられません。
- パスワードの先頭に「password」という語を使用することはできません。また、大文字と小文字は区別されません。
- 「Catalyst」という単語をパスワードの一部にすることはできません。
- 3つ以上の文字を連続して使用することはできません。たとえば、111は受け入れられません。
- 123のように連続する2つ以上の文字を使用することはできません。

```
Please change device default username AND password.
Change of credentials is required for better protection of your network.
Please note that the new password must comply to the following password complexity rules:
    1. The password must be at least 8 characters long.
    2. Password must contain at least 3 of the following types: lowercase letters, uppercase letters, numeric digits or special characters.
    3. A character can not be repeated consecutively more than 3 times.
    4. The password cannot contain more than 2 sequential characters or numbers, or the reverse value of these sequences.
    5. The password cannot contain the username or a reversed form of username.
    6. The password cannot contain the manufacturer or product name or a reversed form of such.
    7. The password cannot contain a password that is part of a predefined list of breached or dictionary based passwords.
Enter new username: admin
Enter new password: ***** ①
Confirm new password: ***** ②
```

Note:

Cisco123などのルールに準拠しないパスワードを入力すると、パスワードが拒否された理由の説明と一緒に拒否されます。

```
Enter new username: admin
Enter new password: *****
Confirm new password: *****
User credentials change failed.
Password rejected - Password cannot contain more than 2 sequential characters or
numbers.
Enter new username: admin
Enter new password: *****
Confirm new password: *****
Username and password were successfully updated.
```

ステップ7

IPアドレスを設定するには、`config terminal`と入力します。この例では、interface VLAN1を設定します。

```
config terminal
```

```
interface Vlan1
```

手順 8

コマンド`ip address`に続けて、IPとサブネットマスクを入力します。この例では172.16.1.11で、サブネットマスクは255.255.255.0です。

```
ip address 172.16.1.111 255.255.255.0
```

手順 9

`ip`ルートを指定します。この例では、デフォルトゲートウェイとして0.0.0.0を宛先プレフィックスとして使用し、ネットワークマスクとして0.0.0.0、ネットワークのIPアドレスを付加します。

```
ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 172.16.1.60
```

手順 10

SSHクライアントを有効にするには、ユーザ名とパスワードを使用してSSH経由で認証できる`ip ssh-client authentication password`を入力します。

```
ip ssh-client authentication password
```

手順 11

コンフィギュレーションモードを終了し、特権実行モードに戻ります。

```
exit
```

手順 12

write memoryと入力して、設定を保存します。

```
write memory
```

手順 13

Yを入力して確定します。

```
Y
```

結論

行くぞ！CLIを使用したCatalyst 1200/1300スイッチの基本的な初期設定が完了しました。

その他の設定と機能については、『Catalystシリーズ[アドミニストレーションガイド](#)』を参照してください。

この記事の関連ビデオを見る...

[シスコの他のテクニカルトークを表示するには、こちらをクリックしてください](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。